

2024年12月20日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

【開館5周年】

“キニナル ヒロサキ・キニナル アート”

2025年度 主なプログラム

弘前れんが倉庫美術館は、2025年度に開館5周年を迎えます。2020年の開館から5年間、多様な現代アートを紹介する年間2本の企画展を中心に、地域の創造的魅力的再発見を目指す「弘前エクステンジ」、ラーニング・プログラム、音楽ライブや映画上映を行う「H-MOCAライブ」、トーク・イベントや地域連携イベントなど、さまざまな事業に取り組んできました。2025年度は、2本の企画展のほか、2025年7月11日（金）の開館記念日を含む週末3日間には、館内外を会場に作品展示やイベントを行う「開館5周年記念イベント」を開催します。また、新たに現代アートのレクチャーシリーズが始まります。当館は5周年を機に、より一層活動の幅を広げ、地域のクリエイティブ・ハブ（文化創造の拠点）となることを目指します。

テーマ

キニナル ヒロサキ・キニナル アート

開館5周年に掲げた言葉「キニナル」には、「気になる」と「木に（実が）なる」というふたつの意味を込めています。「キニナル」という好奇心は、今まで知らなかった世界に触れる原動力を生み出します。当館は、展覧会や地域連携イベントなど複数のプログラムを行うことで、常に新しい表現、モノ、コト、人に会える場所となることを目指します。

弘前れんが倉庫美術館では、弘前に暮らす人々にも初めてこの地を訪れた人たちにも、作品やさまざまなプログラムが、改めてわたしたちの社会を知る場となり、次の時代を育むエネルギーに結実していくことを願っています。みなさんが気になる美術館になること、多くの人が足を運びたい美術館になること、そこから人や地域や文化が育つこと。地域とともに育つ美術館として、記憶の担い手であるとともに、未来の記憶のつくり手になることを目指します。

企画展

開館5周年記念展 *

2020年の開館から5周年を記念して開催する展覧会。弘前や津軽地方固有の風土、歴史、民俗、文化に根差しつつ、新たな価値の創造を目指してコミッション・ワークを収蔵してきた美術館として、コレクションとともに、未来を担うアーティストたちの作品を紹介。

出品作家（予定） | 川内理香子、佐藤朋子、渡辺志桜里、小林エリカ、田村友一郎、奈良美智 ほか
会期 | 2025年4月4日（金） - 11月16日（日）

開館5周年記念展のプレスツアーおよび開会セレモニーは、2025年4月4日（金）を予定しています。
この機会にご取材のほどお願いします。詳細は後日お知らせします。

杉戸洋展 *

現代の日本を代表する画家の一人である杉戸洋（1970年生まれ）による北東北初の個展。1990年代から最新作までの杉戸作品を紹介しながら、グラフィックデザイナーの服部一成との協働で、時代の精神を振り返る展覧会。

会期 | 2025年12月5日（金） - 2026年5月17日（日）

*展覧会タイトル未定

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

開館5周年記念イベント

7月11日は、弘前れんが倉庫美術館の開館記念日です。2025年7月11日（金）を含む週末3日間は、美術館内や土淵川吉野町緑地、カフェなどを会場に、開館5周年を記念した特別なイベントを開催します。

日程 | 2025年7月11日（金）－7月13日（日） 3日間

場所 | 弘前れんが倉庫美術館、土淵川吉野町緑地、cafe & shop BRICK

プログラム（予定） |

- ・ナイトミュージアム（展示室は19時まで開館時間延長）*7月11日（金）・12日（土）のみ
- ・展覧会解説ツアー、建築ガイドツアー
- ・屋外での作品展示
- ・音楽ライブ
- ・フード、ドリンク屋台の出店 など

ラーニング・プログラム

公共性をテーマに、参加者同士で合意形成を図る活動や、言語と身体を行き来するコミュニケーションの手法を体験できる、いくつかのワークショッププログラムを実施します。ケアに着目したものや、演劇教育の手法を取り入れた鑑賞プログラムなどを通じて、美術館と地域の人々との多様な関係性づくりを目指します。

プログラム（予定） | 演劇教育の手法を取り入れた作品鑑賞プログラム、ケアに着目したプログラム、コミュニケーションワークショップ など

現代アートレクチャーシリーズ

当館の学芸スタッフが講師を務め、現代アートをさまざまなトピックから掘り下げるレクチャーシリーズを月1回程度開催します。

H-MOCAライブ

さまざまな人が美術館に足を運びきっかけをつくり、新しい価値観に触れ、多様性について考える機会を創出し、文化・芸術への興味関心を高めることを目的に、多彩なイベントをスタジオなどで開催します。

プログラム（予定） | 音楽ライブ、本・本屋に関するトークイベント、映画上映会 など

れんが倉庫部

幅広い年代の方が活動する当館のボランティア組織「れんが倉庫部」は、建築ガイドツアーやイベント開催時のサポートなどさまざまな活動を行なっています。2025年度は新たに、部員とともに企画するワークショップにも取り組みます。

プログラム（予定） | 建築ガイドツアー、部員企画のワークショップ など

※各プログラムの詳細は決まり次第、当館ウェブサイトで発表します

○弘前れんが倉庫美術館 ウェブサイト <https://www.hirosaki-moca.jp/>

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1